



佐野市市民活動センター

ココねっと

心をつなぐ
第80号

Try it now ~やってみようから始まる市民活動~



地域の人たちから学ぶ発見と驚きの夏休み！ 全4講座シリーズ

かんどう すごわざ ワークショー！

感動の凄技、WORK匠!!

8月8日(土)開催



和菓子の匠として四季彩菓扇屋 石倉大さんと、シーグラスアートの匠として sea glass art mish*神島真輝さんが講師です。和菓子作りでは「ひまわり」と「青楓（あおかえで）」を、シーグラスアートでははがきサイズの額装品作りに挑戦しました。初めての体験に戸惑う様子もありましたが、短い時間で個性あふれる素敵な作品を作り上げていました。

ポスター作成講座

7月26日(日)開催



講師は、佐野日本大学短期大学の田村田先生です。

参加の小中学生が、課題に真剣に向き合う様子から、意欲の高さを実感しました。

科学実験教室

8月2日(日)開催



佐野日本大学中等教育学校の篠崎淳先生と現役の理科部員を講師に迎えて、小学生を対象に開催しました。

初めて見る液体窒素に興味津々、大興奮の実験でした。

「Let's ダンス & ボイトレ」講座

8月9日(日)開催



中学生を対象に、Solarisの永澤香穂先生を迎えて開催しました。

「メリーポピンズ」の中の一曲を、歌って踊りました。中学生はすばらしい集中力でした。

参加
無料

ここねっとオープンデー 今後の予定

オープンデーのイベントは、定員があります。参加申込みは、電話・メールで受け付けます。

TEL:0283-20-5166
E mail : sanosc@sctv.jp

美音の会 ちいさなコンサート ～秋風によせて～

10/17(土)14:00～

会場：ここねっとサロン

美しい女声アンサンブルで聞く人を魅了する**美音の会**が、コンサートを開催します。重唱や独唱をお楽しみください。会場の皆さんと一緒に歌うコーナーもあります。 定員20名

♪曲目♪
紅葉・ほしとたんばば・森の水車・中国地方の子守歌・通リゃんせ その他

さのフォーラム主催 佐野魅力発見ウォークラリー 10/17(土)

佐野市の“知る人ぞ知る”隠れた名所を、歩いて訪ねます。街の魅力を再発見するイベントです。楽しく歩くと、佐野がもっと好きになりますね。

*詳細は**ここねっと** HP 上のチラシで



昭和懐メロ倶楽部 みんなで歌おう昭和の懐メロ

11/21(土)

会場：ここねっとサロン



イベントやボランティアで大人気の**昭和懐メロ倶楽部**が、コンサートを開催します。フォークソングや歌謡曲など、昭和の名曲を思い切り楽しみましょう。 定員30名

朗読サークル凧の会 朗読を楽しむ会

12/12(土)

会場：ここねっと研修室

毎年恒例になった**凧の会**による朗読を楽しむ会、今年は12月12日開催です。お楽しみに！ *詳細は「広報 SANO11月号」で



ここねっとの事業

<開催予定>

蕎麦打ち教室 全3回

11/29(日)・12/6(日)・12/20(日)
9:30～13:00

*開催日ごとの申込みです。**ここねっと**へ電話(20-5166)で。

香り満点の新粉で作る「挽きたて・打ちたて・茹でたて」の「三たて蕎麦」の醍醐味を味わいましょう。 ○対象者：中学生～一般 ○参加費：材料費のみ ○申し込み開始：11月1日から

<開催済み>

出張ここねっと 令和8年7月2日(木)

会場：佐野日本大学短期大学 みかも館

今回は「はじめましてボランティア」と題し、**ここねっと**の登録団体から、長年市民活動を実践されている四つの団体に同行してもらいました。

そして、みかも館内のサロン・ド・アカデミアにブースを設け、学生が、直接質問や相談を伝え、活動団体からアドバイスをもらえる機会を提供しました。

参加団体

- ・安佐手話通訳者会
- ・佐野市音訳ボランティア
- ・やまびこの会
- ・佐野点訳サークルこぼと会
- ・佐野市国際交流協会
- ・日本語ボランティア(火曜教室)

ありがとうございました





登録団体の活動紹介～vol.19～



手話サークル かたくり



私たち手話サークルかたくりのメンバーは、ろう者の皆様と会話ができればとの思いのもと、佐野市聴覚障害者協会から支援をいただきながら楽しく勉強しています。

近ごろは、各種団体のイベントで主催者が手話を使って挨拶することが多くなってきました。このような状況の中、手話を習ってみようとする方が更に増えてくれることを願っています。また、言語の一つといわれる手話が、どこに行っても使われているような社会になることを望んでいます。

佐野桜の会

新規登録団体

佐野桜の会は、生け花サークルです。二から三か月に一度、土曜日の午後に活動をしています。

花や木には、一本一本、茎の曲がり方、花や葉の向きや数などの違いがあります。その花材の自然な形や姿勢を生かすためにどうしたらよいのか、和気あいあいとした雰囲気話し合いながら活かしています。これからも、花材の美しさを引き出すために工夫し、メンバーの作品を互いに鑑賞し合う時間がより楽しくなる活動にしていきたいと思います。



ここねっと取材記事

取材の様子ははこちらから

随時更新中

ぜひご覧ください！

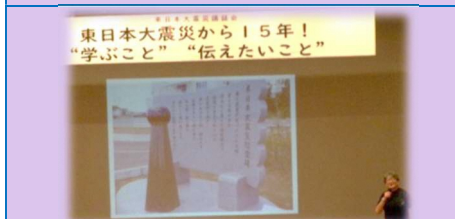
公式
X



公式
Facebook



8月25日(火)、栃木県内の中間支援センターを対象にした「第2回情報交換会 in 日光」が開催され、ここねっとのスタッフも参加しました。ワークショップで上がった課題を整理しながら、それぞれの組織の課題や悩みを共有しました。研修の後は街歩きをして、天然氷のかき氷を味わいました。



7月12日(日)、田沼中央公民館大ホールで「東日本大震災講話会」が開催されました。「東日本大震災から15年！『学ぶこと』『伝えたいこと』」と題した講演です。語り継ぐことで震災を風化させないという思いを、あらためて感じました。今後の防災・減災に役立つ講話はとても勉強になりました。



7月7日(火)、とちぎボランティアNPOセンターぽ・ぽ・らとまちびあの共催による「初心者向け NPO 会計入門講座」が開催されました。サテライト会場となったここねっとでも「今まで報告書の見方が分からなかったが、具体的な記入方法の説明を聞くことができ、よく理解できました。」など、参加者の感想から、講座の内容が好評であったことを伺うことができました。





助成金情報

〇コメリ緑育成財団

「第37回コメリ緑資金環境助成」

【申込みメ切：令和8年10月31日】

森林整備や在来種の植樹、野生動植物や絶滅危惧種の保護、また緊急性の高い課題（害獣被害、災害など）への助成。

〇とちぎボランティア NPO センター **ぽ・ぽ・ら** 主催 助成金合同説明会 2026

「助成団体に聞ける！はじめての助成金ガイド」

【令和8年10月8日(木) 13:00～16:00】

サテライト会場：**ここねっと**

助成金の初回申請に向けた一歩を踏み出せるよう後押しすることを目的としています。

※詳しくは**ここねっと**まで電話・メールでお問い合わせください。

ここねっと文庫紹介



社会を知るためには

筒井 淳也 著

(ちくまプリマー新書)

「社会」という言葉は様々な形で使われていますが、その実態は少しあいまいなようです。そこで、どうすれば「社会」を理解できるのか？について、多方面からヒントを提示してくれる内容になっています。難しい本のように感じるかもしれませんが、すらすらと読み進めることができます。サロンに開設している「ここねっと文庫」に所蔵しています。

興味のある方はご一読ください！



佐野市市民活動センターここねっと



〒327-0003

佐野市大橋町 3211-5

TEL/FAX 0283-20-5166

MAIL:sanosc@sctv.jp

HP:https://kokonet-sano.jp

開時間館

火曜～土曜 9:00～21:00

日曜・祝日 9:00～18:00

休館日

毎週月曜／12月29日～1月3日

編集後記

「ロマン」という表現は、現実の状況からは少し離れていながらも、なぜか想像力がかき立てられるような心境になる時に使われます。例えば、人と人のかかわりで甘味なイメージが強いことなど、例えば前号の拙文でお届けした「恋路」の話などはそうかもしれません。その他では、あらためて気に留めたことなどないただの、それも身近な地名が、実は歴史上の人物やその関係者にかかわる言い伝えなどにつながっていると気づいた時なども想像力はますます刺激され、これもまた「ロマン」を感じるようになります。

市内に残る一話を紹介しましょう。

時代は明治までさかのぼり旧葛生町ができる前、秋山川や仙波川が流れる地域で村々合併がありました。新しい村が誕生する際の村名は、本々の三つの村からそれぞれ一字を取り「**常盤（トキワ）村**」と命名されました。

しかし、この「**常盤**」という名についてのお話は、これで終わりではないのです。この地域で何百年も前から語られている説話には、あの誰もが知る源義経につながる内容があるのです。とはいっても母親が主人公の話になりますが。

義経の母親は、兄の頼朝に追われ奥州へ落ちのびた息子に会いたい一心で、夫と娘婿に同行されながら今の「**常盤**」地区を通りかかりました。一行がこの間道を選択した理由は追っ手を避けるためでもありましたので、当然山道は険しく、馬は崖下へと滑り落ち、荷物ともども失ってしまいます。それでも母親の信念は揺らぐことなく、何度も先へと挑みましたが、とうとう越えることは叶わず、ついにこの「**常盤**」の地で命が尽きてしまったということです。そして、この母親こそ、名を「**常盤御前**」と言います。地名と伝承中の有名な人物が同じ「**常盤**」でつながっているではありませんか。

さて、想像力は刺激されているでしょうか。「**常盤**」という言葉には「永遠」や「ずっと」という意味もあるようですから、これから先も「**常盤**」はロマンの地であり続けるはずですよ。

ロマンが薫る佐野市っていいですね。

お花畑游酔 (☺name: センター長)

